



第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会

滋賀県開催準備委員会

第 17 回広報・県民運動専門委員会

会議資料



第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクター

チャッフィー

キャッフィー

報告事項

- (1) 広報・啓発活動 令和元年度取組実績について
- (2) 令和2年度広報ポスターについて
- (3) 草津駅西口階段での広報について

審議事項

- (1) 広報・啓発活動 令和2年度取組計画（案）について
- (2) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
県民運動アクションプログラム（案）について

**第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
広報・啓発活動 令和元年度取組実績**

1 愛称・スローガン等による広報

昨年度決定した愛称・スローガンおよび大会マスコットキャラクター「キャッフィー」「チャッフィー」を様々な機会で積極的に使用し、両大会の広報・啓発に活用した。

（1）大会愛称・スローガンの活用

（公財）日本スポーツ協会と協議を行い「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポに係る標章およびマスコット等使用取扱規程」を作成し、大会愛称・スローガンを広く県民や各企業・団体等に使用していただけた環境を整えた。

また、令和元年 10 月から愛称・スローガンを使用したラッピングバスを大津～草津エリアで走行させたほか、草津駅西口階段での大型階段広告を実施した。そのほか、公用車へのラッピングや広報・啓発物品、当準備委員会から発出する文書や封筒にも使用した。

その他、滋賀県中小企業団体中央会に両大会広報への協力を依頼し、封筒への愛称・スローガンの印刷や当該団体が所有する公用車へのマグネットシート貼付等を行っていただいた。

（2）大会マスコットの活用

ア 競技別公式デザイン（デザイン展開形）

県や市町ならびに競技団体および企業等が製作する広報ポスター やグッズ等に使用いただけるよう、大会マスコットキャラクターの競技別公式デザインを追加で作成した。

◆国民スポーツ大会

冬季競技（8種目）、正式競技（1種目）

イ 貸出用着ぐるみの作成

あらたに一般貸出し用の着ぐるみを作成し、地域のスポーツ大会やイベント等で活用いただいた。（R1 年度実績：46 件（貸出見込みを含む。）

ウ 着ぐるみ募金の実施

募金活動との相乗効果を得るため、クラウドファンディングを導入した「キャッフィー」着ぐるみ製作に係る寄附募集を実施した。

◆「キャッフィー」着ぐるみ製作に係る寄附募集 実績

募集期間：令和 2 年 2 月 1 日（土）～ 3 月 30 日（月）まで

実績額：1,205,500 円（クラウドファンディング、申込書による募金、募金箱募金の合計額）

※金額は 2 月末までの実績

エ ぬいぐるみの作製

両大会の広報・啓発に使用するため大会マスコットキャラクターのぬいぐるみを作製した。

2 各種広報物品による広報

（1）ポスター・募金箱ステッカーデザインコンクールの実施

多くの子ども・若者がスポーツや両大会への関心を育み、県民運動や両大会の盛り上げに参画

するきっかけとなるよう、小学生を対象として『募金箱ステッカーデザインコンクール』を、中学生・高校生を対象として『ポスターコンクール』を実施した。

◆ポスター・募金箱ステッカーデザインコンクール応募実績
募集期間：令和元年7月20日(土)～9月20日(金)まで
実績：ステッカーデザイン156点 最優秀賞2点、優秀賞16点
ポスター219点 最優秀賞2点、優秀賞3点、入選7点

(2) モザイクアートポスターの作成

「滋賀県の魅力またはスポーツ・運動の魅力を表現した写真」をテーマに、県内外から写真を広く募集し、県民参加型のポスターを作成した。

◆モザイクアートポスターに係る写真募集
募集期間：令和元年11月15日(金)～令和2年1月31日(金)まで
応募写真数：2,013点
⇒4月頃に関係機関(約900カ所)に配付・掲示。

(3) 広報グッズの作成

寄附に対する返礼や広報活動時の啓発用として、ピンバッジ(2種類、2,000個)やキャラクターネーム(1種類、2,500枚)、名入れボールペン(2種類、2,500本)、缶バッジ(12種類、6,000個)うちわ(1種類、1,000枚)、栄(1種類、27,000枚)、クリアファイル(1種類、3,000枚)、下敷き(1種類、500枚)付箋(1種類、1,000個)のぼり(711枚)、ミニのぼり(100セット)、手提げ袋(1,000枚)広告入りポケットティッシュ・カイロ等の広報グッズを作成した。

3 多様なメディアによる広報

インターネットを通じたより効果的な情報発信を行うため、県公式Facebookや当課インスタグラム、テレビ・ラジオ番組のほか、スポーツ情報誌など様々な広報媒体を活用した広報を行った。(別紙のとおり)

◆大会専用ホームページ等の運用
開催準備に係る様々な情報・内容を整理し、分かりやすいホームページを構築し運用した。また、モザイクアートポスターに係る写真募集に際しては、インスタグラムやツイッターを活用し、幅広く募集を行った。

4 イベント等による広報

- (1) 2024年の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の開催内定を記念したイベントをイオンモール草津において開催した。
- (2) 「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」のPRをメインとした滋賀レイクスターズのホームゲームを開催した。
- (3) 県や市町、各種団体等が主催するイベントにおけるPR活動等の実施(別紙のとおり)
- (4) 「しがスポーツ大使」の参加するイベントとのタイアップ

→街頭募金（東アローズ）

（5）出前講座を活用した広報

→各種団体等が主催する会議等において、大会の開催準備状況について説明を行った。

（別紙のとおり）

5 屋外広告物による広報

- （1）「いきいき茨城ゆめ国体・大会」の会期に合わせ、滋賀県大津合同庁舎の南側壁面（JR 線路側）に特大横断幕を掲出した。（掲出期間：令和元年 10 月 1 日～10 月 31 日）
- （2）JR 草津駅西口階段において、愛称・スローガンをデザインした大型広告を掲出した。
（掲出期間：令和 2 年 3 月 6 日～令和 3 年 3 月 31 日）

6 映像等による広報

開催内定イベントで滋賀ゆかりの選手等によるビデオメッセージを上映

滋賀レイクスターズ、東アローズ、木村敬一選手、近藤寛子選手、伊藤みきさん、桐生祥秀選手からの滋賀の国spo・障spo大会に向けた思いや開催内定のお祝い等のメッセージを上映した。

資料(1)-1(別紙)

◆多様なメディアによる広報

放送・掲載日	発信媒体	番組・掲載場所等	備考
令和元年			
4月26日	テレビ	びわ湖放送「キラリン滋賀」	キャッフィーお誕生日
6月15日	新聞	中日新聞	キャッフィーお誕生日
6月23日	新聞	京都新聞	金米まつり
6月28日	ラジオ	エフエム滋賀 シガスボ!	ジュニアユース募集
8月19日	新聞	京都新聞	ジュニアユース第1回活動
8月19日	新聞	中日新聞	ジュニアユース第2回活動
9月11日	SNS	滋賀県公式Facebook	ジュニアユース第3回活動
9月23日	テレビ	びわ湖放送「キラリン滋賀」	ジュニアユース第2回活動
9月24日	新聞	京都新聞	ジュニアユース第3回活動
9月~11月	広報誌	県内18市町発行の広報誌	モザイクアート用写真募集
11月1日	SNS	滋賀県公式Facebook	内定イベント開催
11月8日	インターネット	ヤフーニュース	内定イベント開催
11月8日	インターネット	びわ湖大津経済新聞	内定イベント開催
11月15日	新聞	中日新聞	募金箱ステッカーデザイン・ポスターコンクール
11月18日	SNS	滋賀県公式Facebook	モザイクアート用写真募集
11月18日	新聞	京都新聞	内定イベント開催
11月18日	新聞	中日新聞	内定イベント開催
11月18日	新聞	ヤフーニュース	内定イベント開催
11月24日	新聞	中日新聞	モザイクアート用写真募集
11月27日	新聞	京都新聞	モザイクアート用写真募集
12月3日	新聞	毎日新聞	桐生選手スポーツ大賞贈呈式
12月3日	新聞	産経新聞	桐生選手スポーツ大賞贈呈式
12月3日	新聞	中日新聞	桐生選手スポーツ大賞贈呈式
12月3日	新聞	朝日新聞	桐生選手スポーツ大賞贈呈式
12月3日	新聞	読売新聞	桐生選手スポーツ大賞贈呈式
12月4日	新聞	滋賀報知新聞	桐生選手スポーツ大賞贈呈式
12月5日	新聞	読売新聞	モザイクアート用写真募集
12月18日	新聞	毎日新聞	きら里斯ポーツ応援の日
令和2年			
1月23日	新聞	京都新聞	レイクスと滋賀バスケットボール協会の協定書調停式
2月6日	SNS	うおーたん公式ツイッター	キャッフィー着ぐるみ寄附募集
2月6日	テレビ	びわ湖放送「キラリン滋賀」	キャッフィー着ぐるみ寄附募集
2月6日	テレビ	NHK「おうみ発630」	キャッフィー着ぐるみ寄附募集
2月6日	テレビ	NHK「おうみ発845」	キャッフィー着ぐるみ寄附募集
2月7日	テレビ	NHK「近畿のニュース」	キャッフィー着ぐるみ寄附募集
2月7日	テレビ	NHK「おはよう関西」	キャッフィー着ぐるみ寄附募集
2月8日	テレビ	NHK「おはよう日本」	キャッフィー着ぐるみ寄附募集
2月9日	新聞	朝日新聞	キャッフィー着ぐるみ寄附募集
2月12日	新聞	読売新聞	キャッフィー着ぐるみ寄附募集
2月12日	新聞	産経新聞	キャッフィー着ぐるみ寄附募集
2月12日	新聞	滋賀報知新聞	キャッフィー着ぐるみ寄附募集

※その他、県公式SNS(facebook, twitter)や各種団体のSNS、チラシ配付等で情報発信

令和元年度実績:40件

◆イベント等での広報・啓発活動の実績

実施日	内 容	実施場所	備 考
令和元年			
4月3日	【スカーレット】戸田恵梨香さん知事表敬訪問	滋賀県庁	キャッパー・チャッパー出役
4月7日	マスターZ水泳短水路大会	県立障害者福祉センター	チラシ・ティッシュ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
4月13日	県民総スポーツの祭典	ピアザ淡海	チラシ・ティッシュ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
4月26日	キャッパー誕生日	八日市めぐみ保育園	ステッカー、名刺配布、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
5月11日	全国都道府県対抗eスポーツ大会	イオンモール草津	チラシ・ティッシュ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
5月19日	大津っ子まつり	皇子が丘公園	チラシ、ティッシュ、ステッカー、ポストカード配布、競技体験、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
5月26日	エキスポーツ2019~くさつ・しがSDGs交流大会~	立命館大学草津キャンパス	缶バッジ配付、競技体験、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
6月1日	スプリングフェスタ子どもわくわくワンダーランド	矢橋帆帆島公園	チラシ、ティッシュ、ステッカー、ポストカード配布、競技体験、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
6月2日	障害者スポーツ大会(フライングディスク競技)	水口スポーツの森	チラシ、ティッシュ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
6月4日	中学校交歓スポーツ大会	皇子山陸上競技場	ティッシュ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
6月9日	全国障害者スポーツ大会知的障害者 (バスケットボール競技)近畿ブロック予選会	ウカルちゃんアリーナ	チラシ、ティッシュ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
6月12日	東レアローズ知事表敬訪問	滋賀県庁	キャッパー・チャッパー出役
6月13日	チャッパー誕生日	城北幼稚園	缶バッジ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
6月15日	ユナイテッド試合でのPR	守山市民球場	チラシ、ティッシュ、缶バッジ、ピンバッジ配付
6月22日	大津駅金米まつり	大津駅前広場	チラシ、ティッシュ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
6月23日	YMITアリーナオープニングイベント	野村公園(YMITアリーナ)	チラシ、ティッシュ、缶バッジ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
6月29日	ターゲットエイジ認定式	彦根文化ホール	ピンバッジ、ボールペン、チラシ配布、キャッパー・チャッパー出役
7月6日	スペシャルスポーツカーニバル	長浜バイオ大学ドーム	チラシ、ティッシュ、缶バッジ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
7月11日	特別支援学校スポーツ交流大会	野洲市総合体育館	チラシ、ティッシュ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
7月12日	特別支援学校スポーツ交流大会	野洲市総合体育館	チラシ、ティッシュ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
7月13日	浅田真央サンクスツア―	県立アイスアリーナ	チラシ、ティッシュ、名刺配布、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
7月14日	浅田真央サンクスツア―	県立アイスアリーナ	チラシ、ティッシュ、名刺配布、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
7月15日	草津市民スポーツ・レクリエーション祭	YMITアリーナ	チラシ、ティッシュ、名刺配布、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
7月19日	【スポーツ大使】大山加奈さん知事表敬訪問	滋賀県庁	ボールペン・缶バッジ、ピンバッジ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
7月21日	障害者福祉センター夏まつり	県立障害者福祉センター	チラシ、ティッシュ、名刺配布、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
7月24日	東近江市民大学	八日市文化芸術会館	チラシ、ティッシュ配布
7月27日	豊郷町地域カレッジ	豊栄のさと(豊郷町)	チラシ、ティッシュ、名刺配布、キャッパー・チャッパー出役
7月29日	NZジュニアチーム知事表敬訪問	滋賀県庁	キャッパー・チャッパーとの写真撮影
7月29日	NZジュニアチーム歓迎レセプション	ロイヤルオーク	チラシ、ティッシュ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
8月1日	近江高校野球部壮行会	滋賀県庁	キャッパー・チャッパー出役
8月10日	カゴメ劇場	琵琶湖ホール	チラシ、ティッシュ、うちわ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
8月10日	滋賀ユナイテッド試合での啓発	湖東スタジアム	チラシ、ティッシュ配布
8月18日	ジュニア・ユース第1回	びわこ成蹊スポーツ大学	キャッパー・チャッパー出役
8月29日	国体結団壮行式(会期前)	危機管理センター	缶バッジ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
9月2日	近江ゆかりの会	品川プリンスホテル	チラシ、ティッシュ、うちわ、缶バッジ、ピンバッジ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
9月15日	手話ふれあいフェスティバル	コミュニティセンターきたの	チラシ、ティッシュ、うちわ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
9月16日	消費生活フェスタ	ビバシティ彦根	チラシ、ティッシュ、うちわ、缶バッジ、ピンバッジ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
9月19日	茨城国体結団壮行式	ピアザ淡海	チラシ、ティッシュ、缶バッジ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
9月28日	全日本ゲートボール選手権大会	長浜バイオ大学ドーム	チラシ、ティッシュ配付、キャッパー・チャッパーとの写真撮影
10月10日	障スポ選手団壮行会	大津駅前	キャッパー・チャッパーとの写真撮影
10月19日	ご当地キャラ博	彦根市内	チラシ、ティッシュ、クリアファイル、しおり、名刺配布、キャッパー・チャッパーとの写真撮影

10月26日	東レアローズ試合での啓発	YMITアリーナ	チラシ、ティッシュ、クリアファイル、名刺、しおり配付、キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
10月27日	東レアローズ試合での啓発	YMITアリーナ	チラシ、ティッシュ、クリアファイル、名刺、しおり、配付、キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
11月9日	しが★スポ フェスティバル	イオンモール草津	チラシ、ティッシュ、クリアファイル、名刺、しおり、缶バッヂ配付、キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
11月10日	しが★スポ フェスティバル	イオンモール草津	チラシ、ティッシュ、クリアファイル、名刺、しおり、缶バッヂ配付、キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
11月16日	わたSHIIIGA輝く国スポ・障スポ開催内定イベント	イオンモール草津	チラシ、ティッシュ、クリアファイル、名刺、しおり、缶バッヂ配付、キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
11月24日	びわ湖駅伝スポーツフェスティバル	希望が丘文化公園	チラシ、ティッシュ、クリアファイル、名刺、しおり、缶バッヂ配付、キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
12月2日	桐生選手県民スポーツ大賞贈呈式	滋賀県庁	キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
12月8日	障害者週間啓発イベント	イオンモール草津	チラシ、ティッシュ、缶バッジ配付、キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
12月15日	全国中学校駅伝大会	希望が丘文化公園	チラシ、ティッシュ、缶バッジ配付、キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
12月16日	きらりスポーツ応援の日	県庁東館7F大会議室	缶バッジ配付、キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
12月22日	もりやまいち	守山市内	チラシ、ティッシュ配布、キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
12月27日	県庁お餅つき	県庁本館正面玄関	キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
令和2年			
1月16日	高体連研究発表会	ピアザ淡海	キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
1月17日	冬季国体結団壮行式	危機管理センター	キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
1月19日	耐寒アベック登山大会	金勝山	チラシ、缶バッジ、カイロ配付、キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
1月25日	レイクス冠試合	ウカルちゃんアリーナ	チラシ、缶バッジ、ティッシュ、カイロ配付、キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
1月26日	レイクス冠試合	ウカルちゃんアリーナ	チラシ、缶バッジ、ティッシュ、カイロ配付、キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
2月9日	BIWAKOクロカン2020	希望が丘文化公園	チラシ、ティッシュ、カイロ配付、キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
2月10日	スポーツ大賞・スポーツ賞・スポーツ顕彰表彰式	滋賀県庁	キヤッパー・チャッパーとの写真撮影
2月23日	びわ湖レイクサイドマラソン	鳥丸半島	チラシ・ティッシュ・カイロ配付、キヤッパー・チャッパーとの写真撮影

令和元年度実績:61件

◆出前講座

月日	内容	場所	備考
令和元年			
5月25日	全国滋賀県人連合会総会	大阪	
7月13日	名古屋県人会総会	名古屋	

令和元年度実績:2件

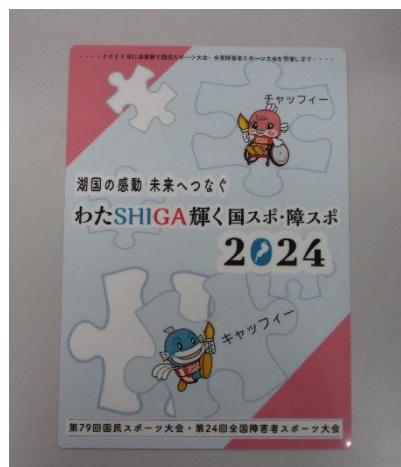
令和元年度の取組実績

広報グッズ

ボールペン



下敷き



クリアファイル



付箋 & しおり



カイロ



うちわ



紙袋



各種イベントでの様子



第36回大津っ子まつり



金米まつり



大山加奈さん スポーツ大使委嘱状交付式



レイクスターズ 冠試合



第19回全国障害者スポーツ大会 近畿ブロック予選会



開催内定イベント

報告事項（2）



チャッフィー キャッフィー

令和2年度広報ポスターについて

令和6年（2024年）に滋賀県で開催する両大会に向けた広報・啓発の一環として、令和2年度の広報ポスターを下記のとおり作成しました。

1 ポスターコンクール最優秀作品を使用した広報用ポスター

（1）概要

両大会に向けて、多くの子ども・若者がスポーツや両大会への関心を育み、県民運動や両大会の盛り上げに参画するきっかけとなるよう、中学生・高校生を対象とした「ポスターコンクール」を実施しました。

そのポスターコンクールで最優秀賞（中学生の部、高校生の部）を受賞された2作品を使って広報用ポスターを作製しました。

（2）掲示時期

令和2年2月以降

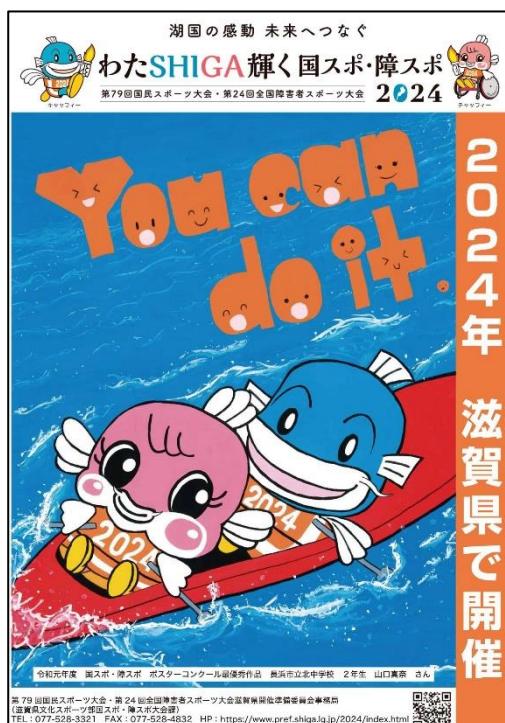
（3）掲示場所

県内の各種学校、公共機関、スポーツ・文化施設等約800か所

（4）ポスター



高校生の部:滋賀県立水口高等学校1年生:梶賀彩心さん



中学生の部:長浜市立北中学校2年生:山口真奈さん

2 モザイクアートを使用した広報用ポスター

(1) 概要

県民参加型のポスターを作製するため、令和元年11月15日～令和2年1月31日にかけて「滋賀県の魅力またはスポーツ・運動の魅力を表現した写真」をテーマに、県内外から写真を広く募集したところ、2,013枚の応募がありました。この写真を使用して、下記のとおりポスターを制作しました。

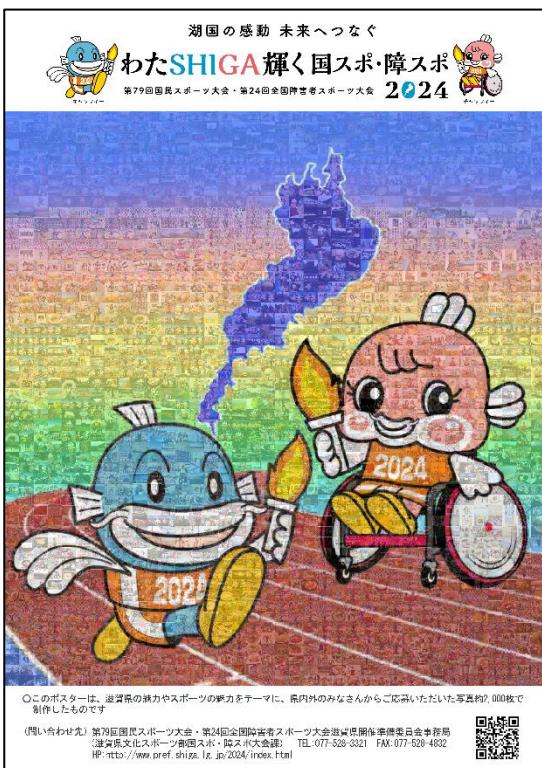
(2) 掲示時期

令和2年4月以降

(3) 掲示場所

県内の各種学校、公共機関、スポーツ・文化施設等約900か所

(4) ポスター



報告事項（3）



チャッフィー キャッフィー

草津駅西口階段での広報について

令和6年（2024年）に滋賀県で開催する両大会に向けた広報・啓発の一環として、JR草津駅西口階段に、以下のとおりの広告貼り付けを実施しました。

1. 貼付期間

令和2年3月4日（水）～令和3年3月31日（水）

2. 貼付場所

JR草津駅西口階段



3. 写真



第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

広報・啓発活動 令和2年度取組計画（案）

計画の5年目にあたる令和2年度においては、「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」の開催機運の醸成を図り、参加・協力へとつなげていくとともに、県民や来県される皆様が楽しみ、親しみを感じていただけるものとするため、イメージソング・ダンスを制作するとともに、引き続き大会愛称・スローガンを用いた開催周知・機運醸成に向けた取組や、大会マスコットキャラクター「キヤッパー」・「チャッパー」（以下「大会マスコット」という。）を活用した広報・啓発活動を推進する。

1 愛称・スローガン等による広報

（1）大会愛称・スローガンを活用した広報

平成30年度に決定し、ロゴデザイン化した大会愛称・スローガンを用いて、バス・電車等の公共交通機関を活用した広報活動を強化する。また、あらゆる手法・場面において、大会愛称・スローガンを積極的に活用し、広報物品等への使用や県内イベントでのPR活動等、愛称・スローガンを活用した広報を展開する。

（2）大会マスコットの活用

あらゆる手法・場面において、大会マスコットを積極的に活用し、広報物品等へのイラストの使用や着ぐるみによる県内イベントでのPR活動等、大会マスコットを通じた広報を展開する。

ア マスコットキャラクター公式デザインの活用

競技別公式デザインを活用した印刷物や広報グッズ等での、大会マスコットのさらなる活用展開の拡大に加え、新たに大会運営や県民運動に関する公式デザインを作製する。

イ 貸出用着ぐるみの作製

一般貸出用の着ぐるみを更新し、地域のスポーツ大会やイベント等で幅広く活用いただけるよう体制を充実する。

（3）イメージソングの制作

制作方法や選定方法等の検討を行い、制作に着手する。

（4）花いっぱい運動の取り組み

部会の立ち上げおよび推奨花の選定を行う。また、令和3年度の試験栽培に向けた協力校や資材の手配を行う。

2 各種広報物品による広報

引き続き、各種広報物品の作成や、広報誌等を活用した積極的な広報活動を展開する。

（1）大会広報誌の発行

大会開催の周知はもとより、現在の準備状況や取材記事等を掲載した大会広報誌を発行し、広く設置・配布を行う。

（2）ポスターの作成

昨年に引き続き中学生・高校生を対象にポスターデザインコンクールを開催し、最優秀作品を使用して広報用ポスターを作成する。

(3) 広報グッズの作成

イベント等で広く配布できるティッシュや大会マスコットの名刺等に加え、手提げ袋や寄附に対する返礼品等、費用対効果のある広報グッズを作成する。

併せて、売り上げの一部を両大会への寄附金として取り扱う「寄附付き商品」として、ぬいぐるみ等幅広い世代を対象とした商品の開発・販売を行う。

3 多様なメディアによる広報

平成29年度に開設した大会専用ホームページを積極的に活用し、開催準備状況等をタイムリーに提供できるよう努める。また、SNSやテレビ・ラジオ番組・新聞等、様々な広報媒体を活用した広報を推進する。

4 イベント等による広報

引き続き各市町の集客力の高いイベントや両大会認知度の低い若年層をターゲットにしたイベントに出向き広報・啓発活動を行う。また、継続して県や市町、各種団体等が主催するイベントや事業とのタイアップによる活動を進めるとともに、駅前や大型商業施設等、集客の見込める場所での広報活動を展開する。

そのほか、両大会の開催周知と気運の醸成を図るとともに、県民総参加による両大会実現のために、活動的な一般県民を対象に広報ボランティアを募集・組織し、県内での各種イベントと連携した広報活動や県民運動の普及推進を図る。

さらに、出前講座や寄附依頼に係る企業訪問等の実施により、開催周知に併せて大会への参画を呼びかける。

5 屋外広告物による広報

若年層の利用者が多い鉄道駅の通路や階段に愛称・スローガンを使用した広告を掲出・設置することで利用者に対して大会開催の周知を行う。

加えて、追加で内定のあった競技会場施設において、会場地市町や開催競技を表記したのぼり旗を設置するとともに、鹿児島国体・大会の会期中に滋賀県大津合同庁舎に特大横断幕の掲出を行う。

6 映像等による広報

各イベントでの広報活動や出前講座等において、大会のPR動画（「子ども・若者参画特別委員会」ジュニア・ユースチーム第4期生制作）や「びわこ国体」・「びわこ大会」等の記録映像のほか、滋賀県ゆかりのアスリートからの応援メッセージを上映し、大会の周知と参加意識の高揚を図る。

わた SHIGA 輝く 国スポ・障スポ

県民運動アクションプログラム

（案）



令和2年(2020)年4月

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会

湖国の感動 未来へつなぐ



わた**SHIGA**輝く国スポ・障スポ
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 2024



目次

◆わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ県民運動アクションプログラムについて

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ県民運動の趣旨	1
県民運動アクションプログラムとは	1
県民運動 3 つの基本目標	1
県民運動推進における役割	1
県民運動推進のイメージ図	2

◆基本目標ごとの具体的な取組について

基本目標 1 「滋賀といえばこれ！」と思う “もの・こと” で滋賀を訪れる方々を迎える、交流することで、「ええやん滋賀！」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。	3
基本目標 2 いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。	9
基本目標 3 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。	14

◆参考資料

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会県民運動基本方針	21
第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会県民運動基本計画	22

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 県民運動アクションプログラムについて

【わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ県民運動の趣旨】

令和6年(2024年)に開催する第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の県民運動は、県民一人ひとりが、様々な形で大会に参加、協力し、理解を深めることにより、「県民」・「来県者」がともに満足し、「滋賀県」に将来に渡って引き継がれるレガシーを遺す「三方（さんぽう）よし」の大会を実現するために、以下の取組を推進します。

また、「健康長寿」、「ボランティア活動の年間行動率」など本県が「日本一」である特徴を活かした取組を開展します。

【県民運動アクションプログラムとは】

この県民運動アクションプログラムは、「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会県民運動基本方針」および「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会県民運動基本計画」に基づき、県民総参加による『わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ』の開催をめざし、県民の参加ができるよう、県・市町および県・市町準備（実行）委員会が行う内容と実施スケジュールを示したものです。

【県民運動3つの基本目標】

- 1 「滋賀といえばこれ！」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀！」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。
- 2 いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。
- 3 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなと一緒に大会や地域を盛り上げましょう。

【県民運動推進における役割】

県民の皆さん

○県民一人ひとり

それぞれの立場で、県および県準備（実行）委員会や市町、市町準備（実行）委員会、関係機関・団体、学校、企業、NPO、ボランティア等が推進する活動に自発的、積極的に参加する。

○地域団体、NPO、ボランティア団体、学校、企業等

県および県準備（実行）委員会や市町、市町準備（実行）委員会と協力し、県民運動の担い手として、普及・啓発を行うとともに、それぞれが連携を図りながら、自主的な活動を積極的に行う。

市町・市町準備（実行）委員会

各市町の実情に応じた県民運動の推進計画を定め、普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力して、地域の特性に応じた取組を推進する。

県・県準備（実行）委員会

県民運動の全県的な推進計画を定め、普及・啓発活動を行うとともに、市町、市町準備（実行）委員会や各種団体等との連携を図り、全県的な運動の支援を行う。

【県民運動推進のイメージ図】



県民一人ひとりが、様々な形で大会に参加、協力し、理解を深めることにより、「県民」「来県者」がともに満足し、「滋賀県」に将来に渡って引き継がれるレガシーを遺す「三方（さんぽう）よし」の大会の実現

県民総参加

～県民運動基本方針 3つの基本目標～

- ①「滋賀といえばこれ！」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀！」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。
- ②いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方親しめる「マイスポーツ」を見つけてましょう。
- ③大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。

自発的・積極的な参加、主体的な活動

県民の皆さん、関係機関・団体、学校、企業、NPO、ボランティア等

支援

連携
協力

啓発

【既存の県民運動等】
環境美化活動



連携

【県、県準備（実行）委員会】
全県的な運動の支援

【市町、市町準備（実行）委員会】
地域の特色を生かした取組の推進

基本目標ごとの具体的な取組について

基本目標 1

「滋賀といえばこれ！」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎える、交流することで、「ええやん滋賀！」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。

●趣旨

全ての県民が来県者を誠意とまごころを持ってあたたかく迎え、来県者が県民との出会いや交流を通して、楽しみ、参加できる場を提供するなど、心のこもった滋賀の「おもてなし」を全国に伝える活動に取り組みます。

●県民のみなさんの取組例

(1) 琵琶湖を中心とした豊かな自然や歴史、文化、食など滋賀の地域資源でもてなします。

【早期から行う取組】

- ・豊かな自然や歴史、文化、食など、滋賀やわがまちの多彩な魅力を再認識し、訪れる方々に紹介する。
- ・県産の食材について知るとともに、滋賀の食文化を学ぶ。

【会期中に行う取組】

- ・来県者をご当地グルメ、特産品でもてなす。
- ・総合開・閉会式会場や競技会場、大会関連イベント会場等で、滋賀やわがまちの名産品や特産品をPRする。
- ・県内各地の歴史、祭り、文化の普及・啓発を目的とした展覧会などの文化プログラムに参加する。

(2) 福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が快適に過ごせるようもてなします。

【早期から行う取組】

- ・学校や地域で開催される手話などの福祉講座等を通じて障害の特性を学び、障害者理解に努める。
- ・「障害の社会モデル」の考え方を理解し、社会のバリアを取り除く実践として合理的配慮に取り組む。

(3) 滋賀県選手はもとより、県外の選手に対してもあたたかな声援で応援します

【直前に行う取組】

- ・学校や団体で応援メッセージを作成し、県外チームに送る。

【会期中に行う取組】

- ・学校や団体で各都道府県応援団を結成し、競技会場で選手を応援する。

(4) 手作りののぼり旗などで歓迎します。

【直前に行う取組】

- ・手作りののぼりや案内看板、歓迎装飾の製作に参加し、来県した選手団を温かく迎える。

【会期中に行う取組】

- ・手作りの都道府県応援のぼりを作成し、競技会場で国スポ・障スポ選手を応援する。

(5) あいさつ運動やマナーアップ運動を展開し、明るい笑顔で元気なあいさつ、親切な応対等、琵琶湖のようにさわやかにもてなします。

【早期から行う取組】

- ・全国から集まる来県者に笑顔できわやかなあいさつをし、親切丁寧な応対をする。
- ・困っている人を手助けするなどマナーアップに積極的に取り組む。

【直前に行う取組】

- ・県や市が開催するおもてなし講習会等に参加する。

(6) 花いっぱい運動やクリーンアップ運動を展開し、琵琶湖・河川・道路等の環境美化に努め、きれいな街でもてなします。

【早期から行う取組】

- ・循環型社会づくりや3R活動に参加し、環境にやさしい取組をする。
- ・地域や琵琶湖の環境美化活動に参加し、ゴミ拾いなどの清掃活動を行う。
- ・大会推奨花を育てる他、地域の花いっぱい運動に参加する。

【直前に行う取組】

- ・競技会場や地域など、身近な施設をたくさんの花で飾る。
- ・総合開・閉会式会場や競技会場の清掃活動に参加する。

(7) 交通安全運動や防犯運動を展開し、安全・安心に過ごせるようにします。

【早期から行う取組】

- ・地域で実施する交通安全運動や防犯パトロールに参加する。

●市町、市町準備（実行）委員会の取組例

(1) 琵琶湖を中心とした豊かな自然や歴史、文化、食など滋賀の地域資源でもてなします。

【早期から行う取組】

- ・市町が有する豊かな自然や歴史、文化、食などの多彩な地域の魅力を再認識し、県内外に向け情報発信する。
- ・地産地消の取組や、「滋賀の食材」を味わう食育活動を推進する。

- ・ホームページ等で郷土料理やご当地グルメ、特産品を紹介する。
- ・地域の特産品のPRや販売を促進し、全国に発信する。

【会期中に行う取組】

- ・競技会場に、郷土料理やご当地グルメ、特産品によるおもてなしコーナーを設置する。

(2) 福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が快適に過ごせるようもてなします。

【直前に行う取組】

- ・市町内の施設のユニバーサルデザイン情報を発信するとともに、誰もが施設を使いややすくなるように施設設置者に呼びかける。
- ・地域の公民館等で障害の体験や手話などの福祉講座を実施する。
- ・各学校に手話講座等の出前授業を推進する。
- ・競技会場施設のユニバーサルデザイン化を推進するとともに、障害者が使いやすいトイレ等の整備を促進する。
- ・ユニバーサルデザインの考え方等について、普及・啓発活動を実施する。

【会期中に行う取組】

- ・競技会場に手話通訳者や誘導補助員を配置する。

(3) 滋賀県選手はもとより、県外の選手に対してもあたたかな声援で応援します。

【会期中に行う取組】

- ・学校や地域と連携して各都道府県応援団を結成し、競技会場で選手を応援する。

(4) 手作りののぼり旗や横断幕などで歓迎します。

【直前に行う取組】

- ・学校や地域づくり団体等へ取組を依頼する。
- ・競技会場やその沿道などに手づくりの案内看板や都道府県応援のぼりなどを設置する。
- ・競技会場とその周辺を看板、横断幕、花等を活用して、歓迎装飾する。

(5) あいさつ運動やマナーアップ運動を展開し、明るい笑顔で元気なあいさつ、親切な応対等、琵琶湖のようにさわやかにもてなします。

【早期から行う取組】

- ・広報誌やホームページ等を通じて、あいさつ・声かけ、マナーアップ、交通安全、防犯活動等の運動を展開し、市町民への普及・啓発、参加の呼びかけをする。

【直前に行う取組】

- ・おもてなし講習会等を実施する。

(6) 花いっぱい運動やクリーンアップ運動を展開し、琵琶湖・河川・道路等の環境美化に努め、きれいな街でもてなします。

【早期から行う取組】

- ・既存の環境美化活動と連携し、推進する取り組みをする。
- ・公共交通機関等を利用する取組（エコ通勤）への参加を促進する。
- ・学校、地域住民、NPO等の団体に、大会推奨花の栽培を依頼し、競技会場等を花で装飾する。

【直前に行う取組】

- ・競技会場や公共施設、観光地、琵琶湖周辺等の清掃活動を実施する。

【会期中に行う取組】

- ・パーク＆ライドを実施し、大会期間中のマイカー利用の自粛や交通規制への協力を呼びかける。

(7) 交通安全運動や防犯運動を展開し、安全・安心に過ごせるようにします。

【早期から行う取組】

- ・広報誌やホームページ等を通じて、あいさつ・声かけ、マナーアップ、交通安全、防犯活動等の運動を展開し、市町民の普及・啓発、参加を呼びかける。（再掲）
- ・学校や各団体と協力し、交通安全教室や防犯教室を実施する。

●県、県準備（実行）委員会の取組例

(1) 琵琶湖を中心とした豊かな自然や歴史、文化、食など滋賀の地域資源でもてなします。

【早期から行う取組】

- ・滋賀の豊かな自然や歴史、文化、食などの多彩な魅力を県内外に情報発信する。
- ・地産地消の取組「おいしが、うれしが」キャンペーンや食育活動を推進する。
- ・ホームページや情報誌等で郷土料理やご当地グルメ、特産品を紹介する。
- ・滋賀の特産品をPRし、販売を促進する。
- ・滋賀県産農林水産物の安心・安全の情報を発信する。
- ・様々な広報媒体を活用し、観光情報を発信する。

【会期中に行う取組】

- ・総合開・閉会式会場におもてなし広場（特産品・観光ブース等）を設置するとともに、競技会場のおもてなしコーナーの設置を推進する。

(2) 福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が快適に過ごせるようもてなします。

【早期から行う取組】

- ・滋賀県内の公共施設や宿泊施設等のユニバーサルデザイン情報を発信するとともに、誰もが施設を使いやすくなるように施設設置者に呼びかける。
- ・競技施設のユニバーサルデザイン化を推進するとともに、障害者が使いやすいトイレ等の整備を促進する。
- ・ユニバーサルデザインの考え方等について研修や普及・啓発活動を実施する。

(3) 滋賀県選手はもとより、県外の選手に対してもあたたかな声援で応援します。

【会期中に行う取組】

- ・総合開・閉会式で都道府県応援団を結成するとともに、各競技会場で選手を応援する。

(4) 手作りののぼり旗や横断幕などで歓迎します。

【直前に行う取組】

- ・手づくりののぼりや案内看板などの製作を支援するとともに、総合開・閉会式会場やその沿道などに設置する。
- ・総合開・閉会式会場や主要駅等とその周辺、観光地を看板、横断幕、花等を活用して、歓迎装飾を実施する。

(5) あいさつ運動やマナーアップ運動を展開し、明るい笑顔で元気なあいさつ、親切な応対等、琵琶湖のようにさわやかにもてなします。

【早期から行う取組】

- ・広報誌やホームページ等を通じて、あいさつ、声かけ、マナーアップ、交通安全、防犯運動等の普及・啓発を図る。

【直前に行う取組】

- ・市町や各種団体によるおもてなし講習会等の実施を促進する。

【会期中に行う取組】

- ・主要駅に総合案内所等を設置し、地域情報や観光、おもてなし情報を発信する。

(6) 花いっぱい運動やクリーンアップ運動を展開し、琵琶湖・河川・道路等の環境美化に努め、きれいな街でもてなします。

【早期から行う取組】

- ・琵琶湖一斉清掃や既存の環境美化活動等と連携し、取組を推進する。
- ・公共交通機関等の利用する取組（エコ通勤等）への参加を促進する。
- ・大会推奨花を決定し、試験栽培を実施する。
- ・花育てガイドを作成・配布し、花いっぱい運動を推進する。

【直前に行う取組】

- ・鉄道、道路、道の駅、道路沿線、高速道路 SA・PA などの管理者に協力を依頼し、花で装飾する。
- ・広報誌やホームページ等を活用して、花いっぱい運動に関する情報を発信する。
- ・総合開・閉会式会場周辺の清掃活動、花の装飾を実施する。

【会期中に行う取組】

- ・パーク＆ライドを実施し、大会期間中のマイカー利用の自粛や交通規制への協力を呼びかける。

(7) 交通安全運動や防犯運動を展開し、安全・安心に過ごせるようにします。

【早期から行う取組】

- ・広報誌やホームページ等を通じて、あいさつ・声かけ、マナーアップ、交通安全、防犯活動等の普及・啓発を図る。（再掲）

●実施スケジュール案

	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
・琵琶湖を中心とした豊かな自然や歴史、文化、食など滋賀の地域資源でもてなします。					
地域資源の魅力を情報発信					→
食育活動の推進					→
ＨＰ等で郷土料理や特産品を紹介					→
特産品等のブース設置				↔	→
・福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が快適に過ごせるようもてなします。					
会場のユニバーサルデザイン化の推進					→
施設や交通機関のバリアフリー情報発信					→
ユニバーサルデザイン研修、普及啓発活動					→
・滋賀県選手はもとより、県外の選手に対してもあたたかな声援で応援します。					
温かい応援実施			↔		→
・手作りののぼり旗や横断幕などで歓迎します。					
のぼりや案内看板等制作・設置					→
歓迎装飾等の実施				↔	→
・あいさつ運動やマナーアップ運動を展開し、明るい笑顔で元気なあいさつ、親切な応対等、琵琶湖のようにさわやかにもてなします。					
おもてなし講習会の実施			↔		→
観光情報・観光資源の情報発信					→
・花いっぱい運動やクリーンアップ運動を展開し、琵琶湖・河川・道路等の環境美化に努め、きれいな街でもてなします。					
推奨花決定、試験栽培、栽培					→
花育てガイドブックの作成・配布		→			→
会場・主要交通機関沿線等を花で装飾			→		→
花いっぱい運動の情報発信	↔				→
既存の活動と琵琶湖一斉清掃等の推進	↔				→
・交通安全運動や防犯運動を展開し、安全・安心に過ごせるようにします。					
交通安全・防犯活動の普及・啓発情報発信					→
大会期間中の公共交通機関の利用促進				↔	→

➡ は検討・準備期間 ➡ は実施期間

基本目標 2

いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。

●趣旨

国スポ・障スポの開催を契機に県民のスポーツへの関心を高め、子どもから高齢者まで生涯にわたってスポーツ活動に親しむことで、県民の健康づくりを推進し、健康長寿を目指します。

●県民のみなさんの取組例

(1) デモンストレーションスポーツや会場地市町等におけるスポーツ教室、各種スポーツイベント等に参加します。

【早期から行う取組】

- ・地域で開催されるスポーツ教室やスポーツイベントに参加し、スポーツに親しむ。

【直前に行う取組】

- ・デモンストレーションスポーツ、オープン競技に参加し、参加者同士の交流を広げるとともに、参加者みんなで楽しむ。

(2) 障害のあるなしや年齢などに関わらず、誰もが楽しめるスポーツに取り組み、交流を通じ、障害に対する理解を深めます。

【早期から行う取組】

- ・障害者スポーツについて学び理解を深めたり、体験イベント等に参加するなどする。

(3) ライフステージに応じたスポーツ活動に取り組み、健康長寿日本一を継続します。

【早期から行う取組】

- ・自分に合ったマイスポーツを見つけ、生涯にわたりスポーツを楽しむ。
- ・スポーツ少年団活動や運動部活動への参加、学校での体力づくりに取り組む。
- ・職場、地域、家庭での健康づくりや体力づくりに取り組む。
- ・家族や仲間と行う「ビワイチ」で、健康づくりや地域の魅力発見を行う。

(4) 両大会にゆかりのある、滋賀のアスリート等と交流します。

【早期から行う取組】

- ・滋賀県出身のアスリートの応援に行く。

(5) 両大会のイメージダンスを覚えて、踊ります。

【早期から行う取組】

- ・学校や地域をはじめとするイベントや祭り等において、大会イメージダンスを踊り、楽しむ。
- ・県や市町が実施するイメージダンスの講習会に参加する。

(6) 両大会をはじめとする各種競技会などに出かけ、観戦・応援します。

【早期から行う取組】

- ・全国レベルのパフォーマンスを体感するために競技会場に出かけ観戦する。

【直前に行う取組】

- ・大会ホームページに選手への応援メッセージを送る。

【会期中に行う取組】

- ・競技会場で応援グッズ等を使って、選手にエールを送る。

(7) 地域のスポーツ活動を応援します。

【早期から行う取組】

- ・地域のスポーツチームを応援する。
- ・プロスポーツなどの地元チーム「滋賀レイクスターズ」や「東レアローズ」、「MIOびわこ滋賀」、「オセアン滋賀ブラックス」等の試合を観戦し、応援する。

●市町、市町準備（実行）委員会の取組例

(1) デモンストレーションスポーツや会場地市町等におけるスポーツ教室、各種スポーツイベント等に参加します。

【早期から行う取組】

- ・公共施設等において、スポーツ教室や各種イベントを実施する。
- ・デモンストレーションスポーツ、オープン競技の競技紹介や体験イベント等の情報を発信する。

【直前に行う取組】

- ・デモンストレーションスポーツを実施する。

(2) 障害のあるなしや年齢などに関わらず、誰もが楽しめるスポーツに取り組み、交流を通じ、障害に対する理解を深めます。

【早期から行う取組】

- ・障害者スポーツの体験会等の情報をホームページ等で発信する。

(3) ライフステージに応じたスポーツ活動に取り組み、健康長寿日本一を継続します。

【早期から行う取組】

- ・地域のスポーツイベントや開催競技の体験教室の情報を発信する。
- ・公共のスポーツ施設や学校体育施設の有効活用を推進する。
- ・運動やスポーツの日常化に向けた学校での取組を推進する。

- ・職場、地域、家庭での健康づくりや体力づくりを推進する。
- ・健康づくりに関する講座や運動の機会を提供する。

(4) 両大会にゆかりのある、滋賀のアスリート等と交流します。

【直前に行う取組】

- ・滋賀県出身のアスリートとの交流イベントを開催する。

(5) 両大会のイメージダンスを覚えて、踊ります。

【早期から行う取組】

- ・市町のイベントや地域の祭り等で、大会イメージダンスを活用する。
- ・ダンス講習会やダンスイベントへの参加を促進する。

(6) 両大会をはじめとする各種競技会などに出かけ、観戦・応援します。

【直前に行う取組】

- ・SNSやホームページ等で競技会場、競技内容、参加県選手団等の紹介をする。
- ・応援メッセージを募集し、ホームページ等に掲載する。
- ・応援グッズを製作し、配布する。

(7) 地域のスポーツ活動を応援します。

【早期から行う取組】

- ・地域のプロスポーツチームを応援する。
- ・地域のスポーツチームや地域周辺でのスポーツイベント等の情報を発信する。
- ・各種競技会や体験教室など地域のスポーツイベントを支援する。

●県、県準備（実行）委員会の取組例

(1) デモンストレーションスポーツや会場地市町等におけるスポーツ教室、各種スポーツイベント等に参加します。

【早期から行う取組】

- ・デモンストレーションスポーツ、オープン競技の競技紹介や体験教室等の情報を発信する。
- ・デモンストレーションスポーツ、オープン競技を県民に周知する。

【直前に行う取組】

- ・デモンストレーションスポーツを実施する市町や競技団体を支援する。

(2) 障害のあるなしや年齢などに関わらず、誰もが楽しめるスポーツに取り組み、交流を通じ、障害に対する理解を深めます。

【早期から行う取組】

- ・広報誌やホームページ等で障害者スポーツに関連する情報を発信する。

- ・障害者のスポーツへの参加意欲の向上と機会の充実を図り、安心してスポーツに参加できる環境づくりを促進する。
- ・啓発活動の中に障害者スポーツ体験コーナーを設置する。

(3) ライフステージに応じたスポーツ活動に取り組み、健康長寿日本一を継続します。

【早期から行う取組】

- ・県内のスポーツ活動の取組等の情報を発信する。
- ・公共のスポーツ施設や学校開放事業の有効活用を推進する。
- ・運動やスポーツの日常化に向けた学校での取組を推進する。
- ・運動部活動の活性化を図る。
- ・職場、地域、家庭での健康づくりや体力づくりを推進する。

(4) 両大会にゆかりのある、滋賀のアスリート等と交流します。

【早期から行う取組】

- ・オリンピック、パラリンピック、世界大会、両大会などに出場する本県ゆかりの選手の情報を発信する。

【直前に行う取組】

- ・本県ゆかりのアスリートを招聘し、スポーツ体験イベント等を実施する。

(5) 両大会のイメージダンスを覚えて、踊ります。

【早期から行う取組】

- ・イメージダンスを動画映像やホームページ等を活用して普及する。
- ・指導者育成のための国スポ・障スポダンス講習会やダンスイベントを開催する。

(6) 両大会をはじめとする各種競技会などに出かけ、観戦・応援します。

【早期から行う取組】

- ・SNSやホームページ等で競技会場、競技内容、参加県選手団等を紹介する。

【直前に行う取組】

- ・応援メッセージを募集し、ホームページ等へ掲載する。
- ・滋賀県応援グッズの製作や配布を推進する。

(7) 地域のスポーツ活動を応援します。

【早期から行う取組】

- ・県内で開催されるスポーツ大会・スポーツイベント等の情報を発信する。
- ・プロスポーツなどの地元チーム「滋賀レイクスターズ」や「東レアローズ」、「MIOびわこ滋賀」、「オセアン滋賀ブラックス」等の試合、スポーツキャンプ等の情報を発信する。
- ・県内のスポーツイベントや国スポ・障スポ開催競技の体験教室等の情報を発信し、県民の参加を促進する。

●実施スケジュール案

	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
・デモンストレーションスポーツや会場地市町等におけるスポーツ教室、各種スポーツイベント等に参加します。					
デモンストレーションスポーツ、オープン競技の情報発信					→
デモンストレーションスポーツ、オープン競技の実施				→	→
・障害のあるなしや年齢などに関わらず、誰もが楽しめるスポーツに取り組み、交流を通じ、障害に対する理解を深めます。					
障害者スポーツの体験や情報発信					→
・ライフステージに応じたスポーツ活動に取り組み、健康長寿日本一を継続します。					
県内スポーツ活動の取組等の情報発信					→
公共スポーツ施設等の有効利用の推進					→
日常的にスポーツができる取組の推進					→
健康づくり事業の推進					→
・両大会にゆかりのある、滋賀のアスリート等と交流します。					
本県ゆかりのアスリートの情報発信					→
アスリートを招き、スポーツ教室の実施			→		→
・両大会のイメージダンスを覚えて、踊ります					
ダンス制作・普及・啓発、講習会の実施	→				→
・両大会をはじめとする各種競技会などに出かけ、観戦・応援します。					
S N S 等で参加選手団の情報発信					→
応援メッセージの募集				→	→
応援グッズの製作・配布の推進			→		→
・地域のスポーツ活動を応援します。					
地域スポーツやスポーツイベントの情報発信					→

➡ は検討・準備期間 ➡ は実施期間

基本目標 3

大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通して、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。

●趣旨

選手の応援や様々なイベント、ボランティア活動等に参加することで、大会を「する」「みる」「支える」といった関わりを持ち、すべての県民が参加する「県民総参加」による取組を推進し、大会を盛り上げます。

●県民のみなさんの取組例

(1) ボランティア活動の年間行動者率日本一を活かし、障害のあるなしや年齢に関わらず、県民総参加で取り組みます。

【早期から行う取組】

- ・ボランティア講習会に参加する。
- ・ボランティア活動に参加する。

(2) スマートフォン・パソコン所有率日本一を活かし、大会に関するイベント等の情報をSNS等で発信します。

【早期から行う取組】

- ・SNSを使って国スポ・障スポの情報を投稿・拡散する。

【直前に行う取組】

- ・ホームページやSNSで選手への応援メッセージを送る。

(3) 子ども・若者・女性の関心を高める広報やイベントを通じて、両大会の参加を促します。

【早期から行う取組】

- ・子どもや家族で、ショッピングモール等で開催されるスポーツイベントに参加する。

(4) 開・閉会式など両大会の関連イベント・行事等に参加します。

【早期から行う取組】

- ・国スポ・障スポをテーマとした体験イベントや写真、ポスターコンクール等に参加する。

【直前に行う取組】

- ・総合開・閉会式の式典前演技や炬火イベント等に参加する。

(5) 両大会に関するボランティア活動に、積極的に参加します。

【直前に行う取組】

- ・広報や大会のPR活動などのボランティア活動に参加する。

【会期中に行う取組】

- ・総合開・閉会式会場や競技会場等で、受付、案内、会場整理、会場美化、会場サービス、式典運営補助などのボランティア活動に積極的に参加する。
- ・総合開・閉会式会場や競技会場等で、手話、要約筆記などのボランティア活動に参加する。

(6) 両大会をはじめとする競技会などに出かけ、あたたかく応援します。

【会期中に行う取組】

- ・競技会場で応援グッズ等を使って、選手にエールを送る。
- ・県内選手だけではなく、参加するすべての選手にエールを送る。

(7) 両大会のイメージソングやイメージダンスによって、心をひとつにして盛り上げます。

【早期から行う取組】

- ・イメージダンスと併せて、様々なダンスや踊りをやってみる。
- ・イメージソング、イメージダンスを覚えて、両大会の応援や盛り上げに参加する。

(8) 募金や企業協賛で、両大会の開催準備・運営を支援します。

【早期から行う取組】

- ・国スポ・障スポへの募金や企業協賛で、大会に参加する。

●市町、市町準備（実行）委員会の取組例

(1) ボランティア活動の年間行動者率日本一を活かし、障害のあるなしや年齢に関わらず、県民総参加で取り組みます。

【早期から行う取組】

- ・ボランティア募集の情報発信をする。
- ・ボランティア講習会を開催するなど、ボランティアの参加を促進する。

(2) スマートフォン・パソコン所有率日本一を活かし、大会に関するイベント等の情報をSNS等で発信します。

【早期から行う取組】

- ・愛称・スローガン、マスコットキャラクター（キャッフィー・チャッフィー）を活用した情報を発信する。

【直前に行う取組】

- ・広報誌、SNS、ホームページ等で競技会場、競技内容、地域にゆかりの選手を紹介し、選手を応援する。
- ・応援メッセージを募集し、ホームページやSNSで情報を発信する。

(3) 子ども・若者・女性の関心を高める広報やイベントを通じて、両大会の参加を促します。

【早期から行う取組】

- ・広報誌、SNS等でイベントの情報を発信する。
- ・子どもや女性が参加しやすいスポーツ体験イベントをショッピングモール等で開催する。
- ・女性が参加しやすいイベントを企画・開催する。

(4) 開・閉会式など両大会の関連イベント・行事等に参加します。

【早期から行う取組】

- ・国スポ・障スポやスポーツをテーマにしたイベント、文化行事等に協力する。

【直前に行う取組】

- ・炬火イベントなどを企画・開催をする。

(5) 両大会に関するボランティア活動に、積極的に参加します。

【早期から行う取組】

- ・競技会運営ボランティア等を募集・育成する。
- ・ボランティア講習会を開催する。

【直前に行う取組】

- ・ボランティア活動マニュアルの作成およびスタッフユニフォーム等の製作や配布を行う。

(6) 両大会をはじめとする競技会などに出かけ、あたたかく応援します。

【直前に行う取組】

- ・応援グッズを制作し、配布する。

【会期中に行う取組】

- ・地域や学校等と連携し、競技会場での観戦や特色ある応援を推進する。

(7) 両大会のイメージソングやイメージダンスによって、心をひとつにして盛り上げます。

【早期から行う取組】

- ・イメージソングやイメージダンスに親しむための講座や講習会等を実施する。
- ・イメージソングの普及やイメージソングを活用した応援を推進する。

(8) 募金や企業協賛で、両大会の開催準備・運営を支援します。

【早期から行う取組】

- ・国スポ・障スポへの募金や企業協賛制度に協力する。

●県、県準備（実行）委員会の取組例

(1) ボランティア活動の年間行動者率日本一を活かし、障害のあるなしや年齢に関わらず、県民総参加で取り組みます。

【早期から行う取組】

- ・ボランティア募集の情報を発信する。
- ・ボランティア活動への参加を促進し、支援する人材の育成をする。
- ・国スポ・障スポを契機として、研修の実施等により意識啓発を促進する。

(2) スマートフォン・パソコン所有率日本一を活かし、大会に関するイベント等の情報をSNS等で発信します。

【早期から行う取組】

- ・愛称・スローガン、マスコットキャラクター（キャッフィー・チャッフィー）を活用した情報発信や啓発を実施する。
- ・SNS、ホームページやテレビ、ラジオ、新聞、地域情報誌等の各種メディアを活用して国スポ・障スポの情報を発信する。

(3) 子ども・若者・女性の関心を高める広報やイベントを通じて、両大会の参加を促します。

【早期から行う取組】

- ・SNSを使って国スポ・障スポの情報を投稿・拡散する。
- ・子ども・若者参画特別委員会（ジュニア・ユースチーム）による提言を両大会の開催に反映する。

【直前に行う取組】

- ・女性アスリートを講師に招いたセミナーや講座等を開催する。
- ・広報誌等に国スポ・障スポで活躍する若者、女性アスリートのインタビュー等を掲載する。

(4) 開・閉会式など両大会の関連イベント・行事等に参加します。

【直前に行う取組】

- ・総合開・閉会式の式典前演技等を企画、実施する。
- ・県民が参加できる大会イベント（炬火イベントなど）を企画、実施する。

(5) 両大会に関するボランティア活動に、積極的に参加します。

【早期から行う取組】

- ・両大会を通じて、ボランティアリーダーの育成を図る。

【直前に行う取組】

- ・大会運営（受付、案内、会場整理、会場美化、会場サービス、式典運営補助など）、情報支援（手話や要約筆記など）、広報（大会のPR活動など）等のボランティアを募集し、講習会を開催する。
- ・ボランティア活動マニュアルの作成や、スタッフユニフォーム等の製作・配布を実施する。

(6) 両大会をはじめとする競技会などに出かけ、あたたかく応援します。

【直前に行う取組】

- ・滋賀県応援グッズの製作・配布の推進をする。
- ・国スポ・障スポ応援グッズやマスコットグッズを製作・配布するなど、特色ある応援の促進をする。

(7) 両大会のイメージソングやイメージダンスによって、心をひとつにして盛り上げます。

【早期から行う取組】

- ・イメージソング、イメージダンスを制作し、普及・啓発を図る。

(8) 募金や企業協賛で、両大会の開催準備・運営を支援します。

【早期から行う取組】

- ・国スポ・障スポへの募金及および企業協賛制度への協力依頼をする。
- ・寄附付き国スポ・障スポグッズを製作、販売する。

●実施スケジュール案

	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
・ボランティア活動の年間行動者率日本一を活かし、障害のあるなしや年齢に関わらず、県民総参加で取り組みます。					
手話・要約筆記などで障害者を支援					→
ボランティアの募集	→				→
ボランティアの育成、実践活動	→	→			→
・スマートフォン・パソコン所有率日本一を活かし、大会に関するイベント等の情報をSNS等で発信します。					
SNS等で大会情報を発信・投稿・拡散			→		→
マスコットキャラを活用した啓発・情報発信					→
・子ども・若者・女性の関心を高める広報やイベントを通じて、両大会の参加を促します。					
女性アスリート講座の開催			→		→
広報誌等で女性アスリートの情報発信	→				→
・開・閉会式など両大会の関連イベント・行事等に参加します。					
総合開・閉会式の式典等への参加			→		→
大会イベントの企画・実施	→				→
・両大会に関するボランティア活動に、積極的に参加します。					
ボランティア活動マニュアルの作成等	→				→
ボランティア講座の開催	→				→
・両大会をはじめとする競技会などに出かけ、あたたかく応援します。					
応援グッズの製作・配布			→		→
マスコットグッズの製作・配布					→
・両大会のイメージソングやイメージダンスによって、心をひとつにして盛り上げます。					
イメージソングの製作・普及・啓発					→
・募金や企業協賛で、両大会の開催準備・運営を支援します。					
募金や企業協賛制度の構築、募集、協力依頼					→
募金付き国スポ・障スポグッズの製作、販売	→				→

➡ は検討・準備期間 ➡ は実施期間

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本方針

1 目的

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」といいます。）の開催に向けて、県民一人ひとりが身近なことから関わって、「大会を盛り上げよう！」という気持ちが滋賀県内に大きく広がり、滋賀を訪れる方々をあたたかく迎える人と地域の機運を高めるために、みんなで取組を進めます。

また、大会の開催を契機に、生涯にわたって気軽に親しめる「マイスポーツ」の発見や、その活動を通じて生まれる様々な人との交流の輪を広げるとともに、滋賀の良いところを発信することで自分が住む地域の魅力を再発見し、滋賀を愛するところを育て、その運動が大会終了後も人や地域に定着することを目的とします。

2 基本目標

- (1) 「滋賀といえばこれ！」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀！」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。
- (2) いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。
- (3) 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。

3 運動の進め方

県民の方々や企業・団体のみなさんに運動が広がるよう、県・市町・競技団体はもとより、県準備（実行）委員会の構成員は互いに連携・協働しながら取り組みます。

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本計画

第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会県民運動基本方針に基づき、第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の県民運動は、県民一人ひとりが、様々な形で大会に参加、協力し、理解を深めることにより、「県民」・「来県者」がともに満足し、「滋賀県」に将来に渡って引き継がれるレガシーを遺す「三方（さんぽう）よし」の大会を実現するために、以下の取組を推進します。

また、「健康長寿」、「ボランティア活動の年間行動率」など本県が「日本一」である特徴を活かした取組を開展します。

1 取組

（1）「滋賀といえばこれ！」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎えることで、「ええやん滋賀！」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。

- ・ 琵琶湖を中心とした豊かな自然や歴史、文化、食など滋賀の地域資源でもてなします。
- ・ 福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が快適に過ごせるようもてなします。
- ・ 滋賀県選手はもとより、県外の選手に対してもあたたかな声援で応援します。
- ・ 手作りののぼり旗や横断幕などで歓迎します。
- ・ あいさつ運動やマナーアップ運動を展開し、明るい笑顔で元気なあいさつ、親切な応対等、琵琶湖のようにさわやかにもてなします。
- ・ 花いっぱい運動やクリーンアップ運動を展開し、琵琶湖・河川・道路等の環境美化に努め、きれいな街でもてなします。
- ・ 交通安全運動や防犯運動を展開し、安全・安心に過ごせるようにします。

（2）いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。

- ・ デモンストレーションスポーツや会場地市町等におけるスポーツ教室、各種スポーツイベント等に参加します。
- ・ 障害のあるなしや年齢などに関わらず、誰もが楽しめるスポーツに取り組み、交流を通じ、障害に対する理解を深めます。
- ・ ライフステージに応じたスポーツ活動に取り組み、健康長寿日本一を継続します。
- ・ 両大会にゆかりのある、滋賀のアスリート等と交流します。
- ・ 両大会のイメージダンスを覚えて、踊ります。
- ・ 両大会をはじめとする各種競技会などに出かけ、観戦・応援します。
- ・ 地域のスポーツ活動を応援します。

(3) 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。

- ・ボランティア活動の年間行動者率日本一を活かし、障害のあるなしや年齢に関わらず、県民総参加で取り組みます。
- ・スマートフォン・パソコン所有率日本一を活かし、大会に関するイベント等の情報をSNS等で発信します。
- ・子ども・若者・女性の関心を高める広報やイベントを通じて、両大会の参加を促します。
- ・開・閉会式など両大会の関連イベント・行事等に参加します。
- ・両大会に関するボランティア活動に、積極的に参加します。
- ・両大会をはじめとする競技会などに出かけ、あたたかく応援します。
- ・両大会のイメージソングやイメージダンスによって、心をひとつにして盛り上げます。
- ・募金や企業協賛で、両大会の開催準備・運営を支援します。

2 取組の進め方

- (1) 県準備（実行）委員会は、全体的な計画や取組を定め、この運動の普及・啓発活動を行うとともに、市町準備（実行）委員会や各種団体等と連携し、全県域における運動を展開します。
- (2) 市町準備（実行）委員会は、地域の特性に応じた計画や取組を定め、地域における普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力し、市町における運動を展開します。
- (3) 学校や企業、NPO法人、各種団体等は、それぞれの活動の中でその特徴を活かした県民運動を企画し、取組を行うとともに、県および市町ならびに各主体の運動に参加・協力します。

3 主な推進スケジュール

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年
	開催内定		開催決定		リハーサル大会	リハーサル大会 大会開催
計画など	基本 県 民 計 画 運動	ブ ア 県 ロ ク 民 グ シ 運 ラ ヨ 動 ム ン				
関連イベント	開催内定 周知活動		開催決定 イベント		開催1年前 イベント	開催直前 イベント

**第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会県民運動アクションプログラム(原案)
に対して提出された意見とそれらに対する開催準備委員会の考え方**

わたSHIGA輝く国スポ・障スボ県民運動アクションプログラムについて			
頁	項目	意見等	意見等に関する考え方
1	わたSHIGA輝く国スポ・障スボ県民運動の趣旨	【砂防課】 ・県民運動の趣旨を「県民」「来県者」「滋賀県(の将来)」の「三方よし」になぞらえる記述については、大会の主役である「選手」をまず初めの「一方」に据えるべき。	第13回広報県民運動専門委員会での決定事項のため、修正できません。
1	県民運動アクションプログラムとは	【政策研修センター】 「県民総参加」と「多くの県民の参加」との表現が両方あり、分かりにくいと考えるので、後者を「県民の参加」とだけ表現してはどうか。	御意見のとおり修正いたします。 (4行目) ○多くの県民の皆さんが県民運動に参加できるよう… ↓ ○県民の参加ができるよう…
1-2	県民運動推進における役割	【視覚障害者福祉福祉協会】 「県民の皆さんが県民運動に参加できるよう、県・市町および県・市町準備(実行)委員会が行う支援の内容と実施スケジュールを示したもの」とあるが、第一次的な主体は「県民のみなさん」で、県や市はあくまで支援する立場で、支援という言葉は必要ない。 【政策研修センター】 県民のみなさん→県民の皆さん	御意見のとおり修正いたします。 (4行目) ○県・市町準備(実行)委員会が行う支援の内容… ↓ ○県・市町準備(実行)委員会が行う内容… 御意見のとおり修正いたします。 (1行目) ○県民のみなさん → 県民の皆さん
2	県民運動推進のイメージ図	【視覚障害者福祉福祉協会】 「県民運動アクションプログラムとは」の記載内容と微妙に違う気がするが、「支援」と「連携協力」の具体的な事例の違いを想定しているのか。	支援は、各運動のスムーズな運営のために必要な物品、研修、活動等を助けています。 連携・協力は、各運動に参加・活動していただく団体と県・市町が連絡を取りあい、目標を達成するイメージです。
基本目標1 「滋賀といえばこれ！」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎えて、交流することで、「ええやん滋賀！」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。			
頁	項目	意見等	意見等に関する考え方
3	趣旨	【政策研修センター】 「温かく→あたたかく」として、基本目標と合わせるべき 【近江八幡市】 「滋賀県」を「滋賀」にするべき	御意見のとおり修正いたします。 (1行目) ○温かく→あたたかく 御意見のとおり修正いたします。 (2行目) ○滋賀県→滋賀
3-4	県民のみなさんの取組例	【健康福祉政策課】 (2)「国スポ・障スボを契機にユニバーサルデザインの考え方について学ぶ。」を削除すべき。 【障害福祉課】 「福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が快適に過ごせるようもてなします」に修正してはどうか。 (2)「国スポ・障スボを契機にユニバーサルデザインの考え方について学ぶ」について、学ぶだけでなく、どうその考え方を実践していくのかが重要ではないか。そういう意味で以下のとおり修正してはどうか。 「障害の社会モデル」の考え方(障害は社会の中にあるバリアによって生じるもの)を理解し、社会のバリアを取り除く実践として合理的配慮に取り組む。 【近江八幡市】 (3)【直前から行う取組】を【直前に行う取組】にする。 (3)「競技会場で国スポ・生スポ選手を応援する」を「競技会場で選手を応援する」にする。 (5)見出し「琵琶湖のように」を削除、または「琵琶湖の風のように」、「湖風のように」にする。 (5)1つ目と2つ目の取組を【早期から行う取組】にする。	御意見のとおり削除し、変更いたします。 ○「障害の社会モデル」の考え方を理解し、社会のバリアを取り除く実践として合理的配慮に取り組む。 第13回広報県民運動専門委員会での決定事項のため、修正できません。 御意見のとおり修正いたします。 ○国スポ・障スボを契機にユニバーサルデザインの考え方について学ぶ ↓ ○「障害の社会モデル」の考え方を理解し、社会のバリアを取り除く実践として合理的配慮に取り組む。 御意見のとおり修正いたします。 ○【直前から行う取組】 ↓ ○【直前に行う取組】以下全て 御意見のとおり修正いたします。 ○競技会場で国スポ・障スボ選手を応援する。 ↓ 競技会場で選手を応援する。 第13回広報県民運動専門委員会での決定事項のため、修正できません。 御意見のとおり修正いたします。 ○【早期から行う取組】 ・全国から集まる来県者… ・困っている人を手助け… 【直前に行う取組】 ・県や市が開催する…

5-6	<p>市町、市町準備(実行) 委員会の取組例</p> <p>【健康福祉政策課】 (2)において、「・市町内の施設のバリアフリー情報を発信する。」とあるが、県、県準備(実行)委員会の取組例での記載内容に合わせて「・市町内の施設のバリアフリー情報を発信するとともに、誰もが施設を使いやすくなるように施設設置者に呼びかける。」としてはどうか。 加えて、「バリアフリー情報」を「ユニバーサルデザイン情報」としてはどうか。<理由>はじめから障壁を作らないという考え方の「ユニバーサルデザイン」の方より適している。</p> <p>(2)において、「・競技会場施設のバリアフリー化を推進する。」とあるが、県、県準備(実行)委員会の取組例での記載内容に合わせて「・競技会場施設のバリアフリー化を推進するとともに、障害者でも使いやすいトイレ等の整備を促進する。」としてはどうか。 加えて、「バリアフリー化」を「ユニバーサルデザイン化」としてはどうか。 (2)において、県、県準備(実行)委員会の取組例での記載内容に合わせて「ユニバーサルデザインの考え方等について普及・啓発活動を実施する。」を追記してはどうか。</p> <p>【政策研修センター】 (2)「●県民のみなさんの取組例」と同じく、市町・市町準備(実行)委員会においても、障害への理解の深化・促進が必要と考えるため、「福祉講座等を通じて障害の特性を学び、障害者理解に努める」ことを記載すべき。</p> <p>【近江八幡市】 (3)「競技会場等での応援を実施する」を「競技会場で選手を応援する」にする。</p> <p>【湖南市】 (2)の「障害者体験」は「障害疑似体験」などの表現に改めるのが妥当ではないか。</p> <p>【障害者福祉センター】 (2)【直前に行う取組】・地域の公民館等で障害者体験や…を、障害の体験に書きかえる。障害者の体験をするものではなく、障害がどのようなものかを体験するため。</p>	<p>御意見のとおり修正いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市町内の施設のバリアフリー情報を発信する。 ○「バリアフリー情報」→「ユニバーサルデザイン情報」 ↓ ○市町内の施設のユニバーサルデザイン情報を発信するとともに、誰もが施設を使いやすくなるように施設設置者に呼びかける。 <p>御意見のとおり修正いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○競技会場施設のバリアフリー化を推進する。 ↓ ○競技会場施設のユニバーサルデザイン化を推進するとともに、障害者が使いやすいトイレ等の整備を促進する。 <p>御意見のとおり修正いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインの考え方等について普及・啓発活動を実施する。(追記) <p>他の項目を「市町、市町準備(実行)委員会」と「県、県準備(実行)委員会」をそろえているため、記載しません。</p> <p>御意見のとおり修正いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○競技会場等での応援を実施する。 ↓ 競技会場で選手を応援する。 <p>御意見のとおり修正いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の公民館等で障害者の体験や… ↓ ○地域の公民館等で障害の体験や…
6-7	<p>県、県準備(実行) 委員会の取組例</p> <p>【健康福祉政策課】 「滋賀県内の公共施設や宿泊施設等バリアフリー情報を発信するとともに、誰もが施設を使いやすくなるように施設設置者に呼びかける。」としてはどうか。 加えて、「バリアフリー情報」を「ユニバーサルデザイン化情報」としてはどうか。</p> <p>【広報課】 ・特に県外に向けた情報発信においては、活用する媒体や時期などの計画について当課との調整をお願いします。</p> <p>【政策研修センター】 (2)「●県民のみなさんの取組例」と同じく、市町・市町準備(実行)委員会においても、障害への理解の深化・促進が必要と考えるため、「福祉講座等を通じて障害の特性を学び、障害者理解に努める」ことを記載した方がいいのではないか。</p> <p>【近江八幡市】 (3)「競技会場等での応援を実施する」を「競技会場で選手を応援する」にする。</p> <p>(6)【直前に】4つ目の取組(パーク＆ライド)を【会期中に】にする。</p> <p>【障害者福祉センター】 (2)【直前に行う取組】・一つ目 「施設設置者に呼びかける。」→「バリアフリー施設に改修されていない施設の設置者」」に書きかえる。施設設置者とはだれを指すのか不明確であるため。 (2)・二つ目、「障害者でも」使いやすいトイレ等…を「障害者が」に書きかえる。同じ目線の表現であるべき。</p>	<p>御意見のとおり修正いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○滋賀県内の公共施設や宿泊施設等バリアフリー情報を発信し、誰もが… ↓ ○滋賀県内の公共施設や宿泊施設等ユニバーサルデザイン化情報を発信するとともに、誰もが…情報を発信する。誰もが… <p>情報発信時には、広報課と調整をします。</p> <p>他の項目を「市町、市町準備(実行)委員会」と「県、県準備(実行)委員会」をそろえているため、記載しません。</p> <p>御意見のとおり修正いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○競技会場等での応援を実施する。 ↓ ○競技会場で選手を応援する。 <p>御意見のとおり修正いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○【会期中に】行う取組 ・パーク＆ライドを実施し… <p>他の項目を「市町、市町準備(実行)委員会」と「県、県準備(実行)委員会」をそろえているため、記載しません。</p> <p>御意見のとおり修正いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○競技施設のバリアフリー化を推進するとともに、障害者でも使いやすいトイレ等の整備を促進する。

	<p>【健康福祉政策課】 「競技施設のユニバーサルデザイン化を推進するとともに、障害者でも使いやすいトイレ等の整備を促進する」としてはどうか。</p> <p>【県障スポ協】 (2)の呼びかけや、バリアフリー化の推進、施設の整備、普及・啓発は【直前に行う取組】ではなく、【早期から行う取組】とすべき。</p>	<p>↓ ○競技施設の<u>ユニバーサルデザイン化</u>を推進するとともに、<u>障害者が</u>使いやすいトイレ等の整備を促進する。</p> <p>御意見のとおり修正いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>【直前に行う取組】</u> ↓ ○ <u>【早期から行う取組】</u>
8	<p>実施スケジュール案</p> <p>【健康福祉政策課】「施設や交通機関のバリアフリー情報発信」「ユニバーサルデザイン研修、普及啓発活動」については、「R3から検討・準備期間、R5から実施期間」とするのではなく、「R2から実施期間」に変更していただきたい。</p>	<p>御意見のとおり修正いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>「R3から検討・準備期間、R5から実施期間」</u> ↓ ○ <u>「R2から実施期間」</u>

基本目標2 いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つめましょう。			
頁	項目	意見等	意見等に関する考え方
9	趣旨	【近江八幡市】 「支える」を「ささえる」にする。	第13回広報県民運動専門委員会での決定事項のため、修正できません。
9-10	県民のみなさんの取組例	【障害者福祉センター】 (2)障害者スポーツについて学び理解を深め、体験イベント等に参加するを、障害者スポーツについて学び理解を深めたり、体験イベントに参加するなどする。に書きかえる。学んでから体験すると読めるが、逆のパターンもあるため。 【県スポ協】 「する」「みる」「支える」の関わりの中からマイスポーツを見つけるのであれば、それらに必然的に関わりも持つよう仕掛け(しくみ)が欲しい。(例)「国スポマイスポーツスタンプラリー」を県民全員が持つなど。	御意見のとおり修正いたします。 ○障害者スポーツについて学び理解を深め、体験イベント等に参加する。 ↓ ○障害者スポーツについて学び理解を深めたり、体験イベントに参加するなどする。 御意見を今後の参考にさせていただきます。
10-11	市町、市町準備(実行) 委員会の取組例	【近江八幡市】 (2)「体験会等をホームページ等で情報を」を「体験会等の情報をホームページ等で」にする。意味が分かりにくいと思われる。 【草津市】 「市町のスポーツ推進計画を策定・推進する。」の取組例を削除 総合計画等で体系化し、スポーツ施策を位置づけており、その基本的な計画として、市スポーツ推進計画を策定しているため、県民アクションプログラムの項目として「当該計画の策定」を位置付けることはなじまない。あえて記載する必要はないと考える。	御意見のとおり修正いたします。 ○体験会等をホームページ等で情報を… ↓ ○体験会等の情報をホームページ等で… 御意見のとおり削除いたします。 ○市町のスポーツ推進計画を策定・推進する。(削除)
11-12	県、県準備(実行) 委員会の取組例	【近江八幡市】 (6)「応援メッセージの」を「応援メッセージを」にする。 【県スポ協】 (4)両大会にゆかりのある、滋賀のアスリート等と交流します。 【早期から行う取組】オリンピック、パラリンピック、世界大会…のあとに、「両大会」を加えてはどうか。	御意見のとおり修正いたします。 ○応援メッセージの… → ○応援メッセージを… 御意見のとおり修正いたします。 ○オリンピック、パラリンピック、世界大会などに… ↓ ○オリンピック、パラリンピック、世界大会、両大会などに…
13	実施スケジュール案	【県スポ協】 スケジュールは県実行委員会、市町実行委員会のどちらを表しているのか。提示されている「スケジュール案」は県民への周知や実施の徹底を考えると、県民に合わせたスケジュールとしてはふさわしいが、県や市町はさらに早く取り掛からないと後手に回らないか、と懸念する。	御意見のとおり、県民に合わせたスケジュールになっております。
基本目標3 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。			
頁	項目	意見等	意見等に関する考え方
14	趣旨		
14-1	県民のみなさんの取組例	【障害者自立支援協議会】 会期中に行う取り組みについて…表現は記載のとおりで結構です。具体的な参加の仕方として・2に加えて・3各種目決勝戦において都道府県代表選手をコート中央までエスコートする(エスコート役は普段活動している種目のスポーツ少年団の代表児童や特別支援学校のクラブ活動実施生徒等)…理由、めったにない国スポ、障スポに決勝戦出場選手をエスコートする体験は、将来への大きな財産となるはず。	御意見を今後の参考にさせていただきます。
15-1	市町、市町準備(実行) 委員会の取組例	【県障スポ協】 提言として、小中学生、特別支援学校の生徒らが滋賀県PR子ども大使として各会場でタブレットを使いながら滋賀の紹介や案内を行えるような環境の整備、声かけをお願いしたい。	御意見を今後の参考にさせていただきます。
16-1	県、県準備(実行) 委員会の取組例	【政策研修センター】 (7)競技そのものがエンターテイメント性を持っているため、イメージソング・イメージダンスは作成せずに、競技の魅力発信や普及・広報に徹底して力を注いだ方が、一つ一つの競技への興味が増え、大会全体が盛り上がると思う。	競技の魅力発信や普及・広報はもちろんですが、イメージソング・イメージダンスで世代を超えて一体感が生まれ、大会全体が盛り上がると思う。また、大会後のダンス普及のきっかけにつながると考える。
18	実施スケジュール案		

その他全体的な事項等		
項目	意見等	意見等に関する考え方
	<p>【広報課】 ・広報誌、県政テレビ番組等の広報媒体を活用する場合は、令和2年度分だけでなく、翌年度以降の広報計画について当課との調整をお願いします。</p>	御意見を今後の参考にさせていただきます。
	<p>【私学・県立大学振興課】 県立大学や私学への説明や個別依頼などの際には、当課にも情報提供されたい。 なお、いずれも法人の自主性を尊重されるようお願いする。 アクションプログラムへの参加促進として、県内学生、生徒等に対しては、ボランティアなどの参加記念品として、現在のSDGsバッヂのようにキャラクターバッヂなどを配布し、着用を勧めることで参加を促進するような工夫をしてはどうか。</p>	御意見を今後の参考にさせていただきます。
	<p>【湖南市】 ・各文末に「～実施する」とあるが県が実施する形で良いか。調整無しで市町に実施要請が来るような事がないようにしていただきたい。 「～する。実施する。」になっているが、どこが実施するのか。(電話質問) →各市町で進めていってもらう。 →できる部分や既存の活動で進めてもらう。すべての市町が統一してしなければならないものではない。市町によって差がでてきてもよい。</p>	各運動の実施にあたっては、事前に各市町に協力をお願いします。
	<p>【大津市】 各目標の取組例について、県民・市町準備(実行)委員会・県準備(実行)委員会で同じ文言や取組みの繰り返しが多い。 (1) 琵琶湖を中心とした豊かな自然や歴史、文化、食など滋賀の地域資源でもなします。 【早期から行う取組】 <県民のみなさまの取組例> ・～ <市町市町、市町準備(実行)委員会の取組例> ・～ <県、県準備(実行)委員会の取組例> ・～ のような形にできないか。</p>	活動の主体ごとに取り組み例がまとまっており、各項目が時期順になっており、わかりやすいと考えます。
	<p>【県スポ協】 「県民運動」を「ひとりひとりの県民」という狭い範囲で捉えられているようであるが、国スポ・障スポの性格から考えたとき、企業や学校・各種団体が主体となった活動も広く「県民運動」として考えるべきではないか。 例えば、P. 6に県民の取組として「・様々な広報媒体を活用し、観光情報を発信する。」とあるが、もう一步踏み込んで、企業による観光ツアーや企画・実施のようなものも県民運動に位置付けてはどうか。おもてなしをビジネスチャンスにつなげる発想があつてもよいと考える。また、琵琶湖があるということから、カヌー体験の提供を取り入れるなど、滋賀でしかできない県民運動の形を考えるべきだと考える。</p>	御意見を今後の参考にさせていただきます。 滋賀県らしさを生かした、特徴ある取り組みができるように、市町、競技団体をはじめ、企業や関係団体等に協力をお願いします。